

名古屋港水族館

指定管理者運営モニタリング結果（年度評価）【令和5年度】

1 施設の概要

施設名	： 名古屋港水族館
所在地	： 名古屋市港区港町1番3号
設置根拠	： 名古屋港水族館条例
設置目的	： 水族に関する知識を広め、水族への親しみを深めることにより、住民の自然環境に対する意識の高揚を図るとともに健全な余暇の活用に資するため
施設概要	： 名古屋港水族館

2 指定管理概要

指定管理者名	： 公益財団法人 名古屋みなと振興財団
指定期間	： 令和5年4月1日から令和15年3月31日まで

3 利用状況

(単位：人)

区分	令和5年度		令和4年度		増減①-②
	計画値	実績値①	計画値	実績値②	
名古屋港水族館	-	-	-	-	-
	2,000,000	2,436,101	1,520,000	2,063,477	372,624

※ 計画値は、指定管理者から提出された計画値を指します。

4 収支状況

(単位：千円)

区分	令和5年度		令和4年度		増減①-②
	計画値	実績値①	計画値	実績値②	
収入	2,323,000	2,922,842	2,152,000	2,562,574	360,268
利用料金	2,240,000	2,781,351	1,681,326	2,472,268	309,083
指定管理料	5,449	5,448	390,000	4,361	1,087
その他	77,551	136,043	80,674	85,945	50,098
支出	2,323,000	2,481,789	2,152,000	2,484,790	-3,001
収支差	0	441,054	0	77,784	363,270

※ 計画値は、指定管理者から提出された計画値を指します。

5 モニタリング結果

(1) 総合評価

評価	評価内容
A⁺	特別展やコラボレーションイベントを開催するとともに、SNSを効果的に活用し情報発信を行い、また、オンラインレクチャーやスナメリ観察会の開催等、教育普及に関しても積極的に取り組み、調査研究ではアカウミガメ回遊経路調査に取り組んだこと等が評価できる。 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う外出機会の拡大や訪日外国人客の増加の機会を取り込んだことにより、入館者数が計画値を大きく上回る利用実績となった。

(2) 区分ごとの評価

区分	評価	評価内容
基本項目	A	平等な利用の確保、法令遵守など、本組合の求める水準で運営が行われている。
施設の適正な管理	A⁺	数多くの維持補修を迅速に行っており、適正に管理している。特別展を2回開催し、好評であった。また、オンラインレクチャーや名古屋港スナメリ観察会を実施し、積極的に教育普及に取り組んだ。調査研究では、米国関係機関等とアカウミガメの回遊経路調査に取り組んでいる。
サービスの維持・向上	A⁺	X(旧Twitter)を新たに開設し、SNSでの情報発信に努め、コラボレーションイベント等に取り組み、広報活動を積極的に行った。また、ミュージアムショップでは、オンライン販売を開始した。年間の入館者数は計画値の200万人を大きく上回った。
運営等の安定性	A	利用料金収入が増加し、計画を上回る収支差があった。

【評価の基準】

- S : 本組合の求める水準を大幅に上回る水準であり、模範的な施設運営がなされている
A⁺ : 本組合の求める水準を上回り、事業者の提案を含めた協定書の水準
A : 概ね期待どおりの水準(業務仕様書の水準)
B : 一部分を除き、概ね期待どおりの水準
C : 本組合の求める水準と比べて不十分

(3) 今後の対応等

本組合の求める水準を上回る取組も行われていることから、今後もこの管理水準を維持されるよう指導を行っていく。

6 利用者からの反応

アンケートにおいて高い満足度を得ている。SNSのフォロワー数も前年より増加している。

7 その他

特になし

○ 問い合わせ先

名古屋港管理組合 港営部港営課(水族館事業担当)

電話: 052-654-7868 ファクシミリ: 052-654-7829

メールアドレス kanren@union.nagoyako.lg.jp